安心のネットワーク
NOSAI
香川県農業共済組合

そらとつちとみどりの会話

NOSAIかがわ

information magazine of
NOSAI KAGAWA

7 2014 July

vol.008

特集

第2回 通常総代会開催

農業経営の安定 更なる地域農業の発展に

第2回 通常総代会を開催

6月2日、高松市林町のサンメッセ香川にて第2回通常総代会が行われました。（総代201名中、本人出席156名、書面出席38名）。また、県や全国農業共済協会など各関係団体から多数のご臨席、祝辞をいただきました。

上砂組合長あいさつの後、議長に東かがわ市誉水地区の間嶋亨（ましまとおる）さん（57）を選出し、議事に入りました。

提出された平成25年度事業報告書や平成26年度事業計画など全13議案が慎重に審議され、すべて原案どおり可決、承認されました。

今年度も、農業経営の安定のために役職員一丸となって取り組んでまいります。

議長を務めた間嶋総代

総代会は、組合員の代表である総代が、理事から提出された議案を審議する、組合運営の方針を決める最高議決機関です。

一層の農家サービス充実を

日ごろ、組合員皆さまには、NOSAI事業運営にご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

近年、全国各地で記録的な豪雨や豪雪、また局地的な竜巻など様々な天災が頻発し、農家経営に大きな打撃となっています。

本県でも、平成25年夏の猛暑で果樹や大豆に被害が発生し、家畜でも熱射病による事故が増加しました。また、台風の影響で短期作「コシヒカリ」を中心に倒伏や冠水が発生しました。

農政では、TPP交渉がどのような結末を迎えるのか懸念されます一方で、米政策の見直しなど大きな改革が進められております。

また、農業経営全体をカバーする収入保険制度導入に向けた検討調査事業をNOSAI全国が受託し、調査・検討を開始しています。

今年度は県内1組合となって2年目、合併の真価を問われる年となりました。これからも自然災害に対応した、セーフティネットとしてのNOSAI機能が充分に発揮できるよう、皆さま方との「信頼のきずな」をより強固にする訪問活動や組合員サービスの充実発展に努めてまいりますので、より一層のご支援ご協力をお願い申し上げます。

組合長理事　上砂正義

提出された議案

第1号議案 **平成25年度事業報告書、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案並びに不足金処理案の承認について**（3面に関連記事）

第2号議案 **平成26年度事業計画並びに業務収支予算書（案）の承認について**（4面に関連記事）

第3号議案 **平成26年度事務費等賦課額、賦課方法及び徴収方法の承認について**
事務費賦課金総額／6億4,536万円
賦課方法及び徴収方法　共済目的別に、共済掛金と同時に徴収する。

第4号議案 **役員・顧問、損害評価会委員等の報酬及び損害評価員、共済部長手当の承認について**
合計／8,858万円以内

第5号議案 **借入金最高限度額等の承認について**
借入金額／10億円以内
借入先／農林漁業信用基金、香川県農業協同組合、百十四銀行

第6号議案 **余裕金の預入先金融機関の承認について**
農林中央金庫、香川県信用農業協同組合連合会
香川県農業協同組合など9金融機関

第7号議案 **平成26年度無事戻し金の支払額の承認について**
延63,289戸　9,950万円以内

第8号議案 **特別積立金の取崩しの承認について**
農作物共済勘定合計／670万円以内
畑作物共済勘定合計／5万円以内

第9号議案 **定款の一部変更の承認について**

第10号議案 **共済規程の一部改正の承認について**

第11号議案 **損害評価会委員及び家畜診療所運営委員の選任について**

第12号議案 **地域再編整備準備金廃止の承認について**

第13号議案 **附帯決議**

制度の普及、事業推進に尽力

平成25年度農業共済事業功績者等表彰

6月2日、高松市林町のサンメッセ香川にて、平成25年度の事業推進で功績のあった共済部長や、NOSAI制度の普及に貢献された基礎組織などに感謝状が贈られました。受賞者は次のとおりです。（敬称略）

全国農業共済協会長賞

平成25年度任意共済事業推進功績者表彰

【建物共済の部】

工藤　正悟（東かがわ市）
中山　健二（さぬき市）
藤本　茂（三木町）
白井　美奉（高松市）
鵜川　芳美（高松市）
西滝　章男（土庄町）
三井　正規（まんのう町）
吉久　武（三豊市）
矢野　巧（観音寺市）

【農機具共済の部】

坂本　数雄（東かがわ市）
国方　美行（さぬき市）
大森　純二（三木町）
髙橋　庄三（土庄町）
宮武　隆廣（綾川町）
高尾　善幸（丸亀市）
西山　盟（琴平町）
中西　幸範（三豊市）
新延　照市（三豊市）

優秀基礎組織表彰

小砂集落　（東かがわ市）
青岡自治会（観音寺市）

全国農業共済協会長表彰を受ける矢野巧氏

「信頼のきずな」未来を拓く運動組合等優秀基礎組織表彰

NOSAI三豊　青年部

香川県農業共済組合長賞

【家畜共済の部】

大山　由仁（さぬき市）
古本　忠（坂出市）
松原　博文（善通寺市）
森末　雅美（まんのう町）
前川　貞夫（三豊市）
増田　孝（三豊市）
宮崎　哲男（観音寺市）

【建物共済の部】

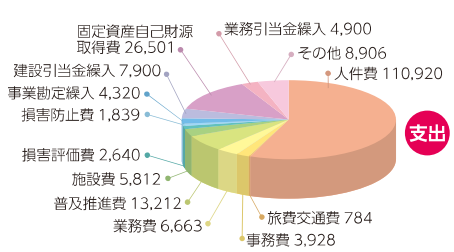
岡崎　吉隆（高松市）
長尾　賢（坂出市）
田所　五郎（綾川町）

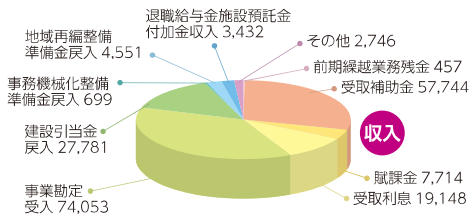
【農機具共済の部】

六車　豊員（東かがわ市）
穴吹　文男（さぬき市）
谷本　勝（三木町）
勝見　好美（高松市）

組合長表彰を受ける岡崎吉隆氏

平成２５年度業務収支《単位：万円》　総額：１９億8,３２５万円





平成２５年度事業実績並びに平成２６年度事業計画

		平成25年度実績	平成26年度計画
水稲共済	引受面積	1,434,774㌃	1,400,000㌃
	共済金額	94億7,083万円	92億6,659万円
	支払共済金	8,428万円	
麦共済	引受面積	234,805㌃	236,000㌃
	共済金額	9億5,112万円	9億5,573万円
	支払共済金	570万円	
家畜共済	引受頭数	40,098頭	43,514頭
	共済金額	48億6,118万円	48億3,516万円
	支払共済金	3億2,351万円	
果樹共済	引受面積	43,717㌃	41,620㌃
	共済金額	5億5,099万円	5億4,000万円
	支払共済金	3,147万円	
畑作物共済	引受面積	5,237㌃	4,590㌃
	共済金額	2,490万円	2,275万円
	支払共済金	342万円	
園芸施設共済	引受棟数	3,799棟	3,665棟
	共済金額	22億3,068万円	21億3,514万円
	支払共済金	995万円	
建物共済	引受棟数	114,522棟	110,870棟
	共済金額	1兆4,521億843万円	1兆4,079億円
	支払共済金	2億9,649万円	
農機具共済	引受台数	22,740台	22,220台
	共済金額	504億3,669万円	503億3,960万円
	支払共済金	1億9,266万円	
合計	共済金額	1兆5,206億3,482万円	1兆4,759億9,497万円
	支払共済金	9億4,748万円	

勧誘方針

香川県農業共済組合は、農業災害補償法に基づき農業者が不慮の事故に因って受けることのある損失を補てんして農業経営の安定を図り、農業生産力の発展に資することを目的として各種の共済事業を実施しております。

これら事業の推進に当たっては、「金融商品の販売等に関する法律」に基づいて、次の勧誘方針を定め、適切な事業推進に努めてまいります。

1 農業災害補償法、金融商品の販売等に関する法律及びその他法令等を遵守し、適正な事業推進を行います。

2 加入者の皆さまの知識、経験、財産の状況及び意向を考慮のうえ、適切な勧誘と情報の提供を行います。

3 加入者の皆さまに共済事業の仕組みやリスクの内容など重要な事項を十分に理解していただくよう努めます。

4 加入者の皆さまに対する加入推進のための方法及び時間帯について、迷惑となる行為は行いません。

5 万が一共済事故が発生した場合には、迅速かつ的確な損害評価及び共済金の支払いを行います。

6 加入者の皆さまに対し、より適切な加入推進が行えるよう、役職員等の研修の充実に努めます。

NOSAI かがわ からのお知らせ

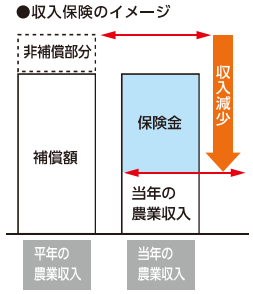
収入保険制度検討調査事業始まる

昨年12月に政府が決定した「農林水産業・地域の活力創造プラン」の中で、多様な担い手の育成・確保対策の一つとして、収入保険導入についての調査、検討が明記されています。この「収入保険制度検討調査事業」はNOSAI全国（東京都）が受託し、平成26年度から調査、検討を進めています。

○収入保険とは

収穫量の減少または販売価格の低下などで、収穫後の販売収入額が保険加入時に設定された収入保証額を下回るとき、保険金が支払われる仕組みです。アメリカ、カナダではすでに実施されています。

●収入保険のイメージ



○農業収入の変動を緩和

現状の農業共済制度では、作物を品目単位で対象とし、自然災害等による収量減少で被る損失を補てんしています。収入保険制度では、品質の低下や販売価格の下落による農業収入の減少も補てんすることになります。また、経営体全体の農業収入を保証するため、現在、対象になっていない作物も保険対象とすることができます。

○農家・法人に協力依頼

調査事業は、青色申告する全国の個人経営体と法人経営体を対象に実施します。県内では49の経営体に協力依頼しています。

調査期間は平成26年から3年間の予定です。

家畜の異動は速やかに

家畜が異動した場合は、家畜改良センターや農協への報告とともに、NOSAIへの報告も併せてお願いします。制度上、加入農家の皆さんには異動通知が義務付けられています。

異動通知が行われていなかった場合、共済金の支払いができないだけでなく、それ以外の家畜の支払いにも影響し、支払済みの共済金を返還していただく場合もあります。ご協力お願いします。

農機具の事故、買い替え時は連絡を

加入されている農機具が事故にあった場合は、

［事故発生日］［機種］
［事故の状況］［修理依頼先］

を直ちにご連絡ください。

農機具を買い替えた場合も、速やかにご連絡ください。変更手続きがされていない農機具に事故が発生した場合は、共済金をお支払いできないことがありますのでご注意ください。

毎年、農繁期には衝突、接触、転覆事故が多発しています。始業点検を行い、事故の未然防止に心掛けましょう。

果樹の共済金をお支払いしました

平成25年産常緑果樹は開花期が低温、乾燥で推移し、着花が少ない園地が見られました。5月下旬からの高温、乾燥の影響では小玉傾向となりました。

共済金は、5月28日にお支払いしました。

樹種	戸数（戸）	支払共済金（円）
うんしゅうみかん	241	13,269,490
いよかん	2	26,220
指定かんきつ	31	1,068,170

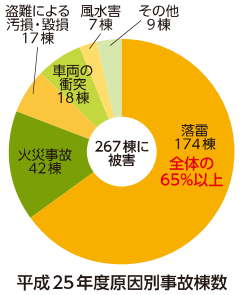
落雷被害発生したら連絡を

7月から9月にかけては、毎年、落雷による家電製品などの被害が多発します。

平成25年度、落雷被害は174棟発生し、そのうち99棟が7月、48棟が8月に発生した事故です。7月と8月だけで年間発生件数の84％を占めています。

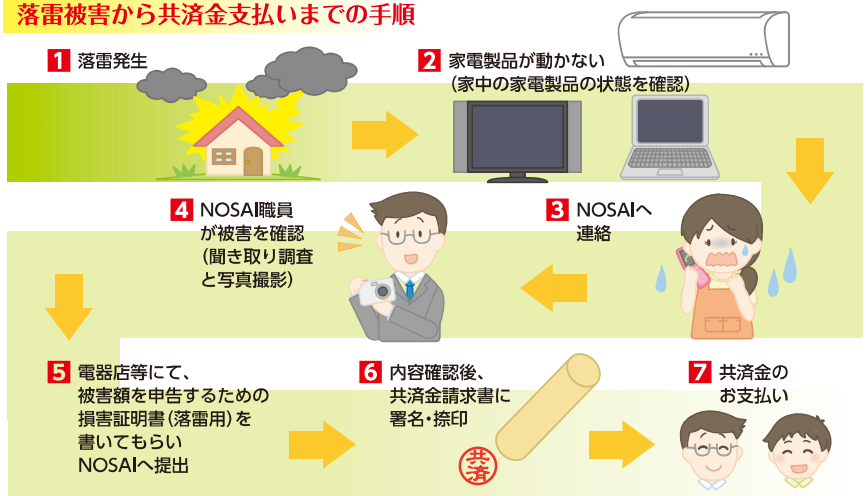
建物事故全体の中でも、落雷事故棟数は65％以上と大きなウェートを占めます。（グラフ参照）

家電製品が落雷による被害を受けましたら、NOSAIにご連絡ください。



平成25年度原因別事故棟数

落雷被害から共済金支払いまでの手順



各支所の連絡先》》》》》

三豊支所	仲多度支所	中讃支所	小豆支所	高松支所	東部支所
観音寺市本大町1378-3	善通寺市与北町山下110	坂出市川津町金山1825-4	土庄町大木戸沖甲5165−169	高松市三名町東原5-6	さぬき市大川町田面王子1-2
TEL（0875）25-2482	TEL（0877）62-5970	TEL（0877）46-1211	TEL（0879）62-0694	TEL（087）888-1146	TEL（0879）43-4121
0120-031-304				0120-58-1148	

組合の主な動き

5月
- 1日 損害評価会かんきつ部会
- 7日 監事会　決算監査（～14日）
- 15日 損害評価会麦見回り調査
- 19日 余裕金運用管理委員会
- 第1回理事会

6月
- 2日 第2回通常総代会
- 11日 損害評価会もも現地研修会
- 19日 損害評価会もも見回り調査

いきいき農家

「生薬栽培」将来性と安定収入が魅力

高松市
讃岐生薬生産組合

近年、漢方薬の需要増に伴い原料生薬の栽培地拡大が求められている。平成25年設立の「讃岐生薬生産組合」（組合員12人）では、高知県の農事組合法人と栽培契約を締結し、今年「ミシマサイコ」1・3㌶を栽培する。

「草処理は大変だが、害虫被害の心配はほとんどなく、管理しやすい」と川田組合長（写真右）と佐々木副組合長（同左）

川田一義組合長（高松市川島本町、71歳）は、「イノシシやサルによる食害がないため、中山間地でも栽培できる。また、生薬は収量に応じた価格で全量引き取られるため、安定経営が見込める」と話す。米価格が伸び悩む中、生薬栽培にかける期待は大きい。

漢方薬の原料となるミシマサイコは一年一作で、2月から3月に播種し、11月から12月に根を収穫する。乾燥などの加工作業期間を入れると、管理は1年に及ぶ。

「水はけのいい傾斜面が栽培適地。軽量なので高齢者や女性でも負担にならない」

組合では、月1回の勉強会を開催し、栽培技術や作業についての打ち合わせなどを行う。出荷も共同だ。

課題もある。副組合長の佐々木享郭さん（同市西植田町、76歳）は、「除草剤使用に制限があり夏場の管理が大変で、根の洗浄も手間がかかる。専用機械を導入しなければ面積拡大は難しい」と話す。メンバー個々の栽培レベルの向上や、輪作に何を栽培するかなど、検討点も多い。

組合のメンバー。地元農業者だけでなく他県からも広範囲で集まる

川田組合長は、「生産組合の実績を着実に積みながら栽培の普及推進を図り、面積を3㌶に増やしたい」と話す。

［ミシマサイコ］
セリ科の多年草で黄色い小さな花が咲く。背丈は40㌢から1㍍。根の部分を乾燥させたものが、認知症の行動・心理症状を緩和する漢方薬や、更年期障害に用いられる漢方薬に配合される。

播種から3カ月経過した状態

乾燥させ、製品として出荷するミシマサイコの根。乾燥させた根は生薬で柴胡（さいこ）と呼ばれる

鳥獣被害軽減に尽力

小豆島町
大下 司（おおした つかさ）さん

防災無線から「小豆島町農林水産課よりお知らせします。○月○日より○月○日まで小豆島町内でシカの有害駆除を行います……」と流れると、大下司さん（水稲32㌃、66歳）の出番だ。

オレンジ色のジャケットと帽子を身に着け、愛用の猟銃を持つ。昭和54年から猟友会メンバーとして活躍し、「農家のために被害を軽減させていきたい」と大下さん。

昨年はシカ57頭とイノシシ23頭を捕獲した

「荒廃した園地が獣にとって絶好のすみかになっています」とわなを仕掛ける大下さん（写真左）と森口さん（同右）

猟友会メンバーの森口大一郎（もりぐち だいいちろう）さん（67）は「大下さんは状況を把握して適切に対処するなど、高い捕獲技術を持っています」と高く評価する。

農家が行う対策には限界がある。駆除での個体数削減が求められ、直接、農家や行政から依頼がくることも少なくない。

大下さんは「猟友会メンバーも年配者が多くなり若い人が不足しています。後継者育成も視野に入れ頑張りたい」と熱意を見せる。

田んぼで子育て

観音寺市八幡町
天野 博之（あまの ひろゆき）さん
晶子（あきこ）さん

「四季を感じ、土と触れ合うことは子供たちにとっても貴重な体験。豊かな自然の中、のびのびと育ってくれています」とは、天野博之さん（32）。子育てに最良の環境を考え、平成23年2月に兵庫県から夫婦でUターン就農した。

「子供たちの笑顔を見るたび、就農してよかったと思います」と天野さん夫妻とじんせいくん（2）、おうせいくん（9ヵ月）

現在、40㌃の農地に加工用青ネギを妻の晶子さん（31）と二人で輪作。作業をする夫妻の傍らには常に子供たち二人の明るく賑やかな声が響く。

食卓を囲むのも家族一緒。晶子さんは「不規則なサラリーマン時代には珍しいことでした。転職を聞いたときは驚きましたが、今は三食、家族と食べられることに感激です」と微笑む。

農繁期は、早朝から深夜にまで作業が及ぶこともある。博之さんは「子供の笑顔を見ると疲れなんか吹き飛んでしまいます。家族一緒の安心感は何にも代えられません」と話す。

「いつでも家族の顔が見られる。安心して毎日の仕事に取り組めています」と博之さん

輝く笑顔 さぬきひめ

ながまち　さいか
長町　彩加さん

23歳・東かがわ市

一人前のネイリストに

美容師として 4 年目です。今はブローやシャンプーなど、カット以外のアシスタントをしています。勤めている美容室では、2 年前からネイルの施術もしています。将来、一人前のネイリストとして活躍したいです。

休みの日は、高松に友人とランチやショッピングによく出掛けています。洋服やアクセサリーがつい欲しくなっちゃいます。

普段はなかなか言えないけど、おじいちゃん、おばあちゃん、いつもおいしいお米や野菜ありがとう。体に気を付けてね。

トピックス

様々な苗木がいっぱい　仲多度女性の会

交換した苗木を手に笑顔の会員

涼しげに仕上がった寄せ植え

5月23日、毎年恒例の苗木交換会を仲多度支所で行いました。この日のために丹精こめて育てられた苗木は、種類にして40種類以上。会員は「知らない花苗でも、直接、管理方法を教われるので失敗がありません。毎年、庭がにぎやかになっています」と口を揃えます。

交換会の後、役員の一人から提供された大きな竹を器に、寄せ植えを作成。にぎやかな一日となりました。

熱中症を防げ！夏の健康管理を学ぶ　三豊女性の会

講師の説明を熱心に聞き入る会員

5月28日、熱中症予防についての研修会を三豊支所で開催。大塚製薬㈱の藤田順久氏を迎え、熱中症の要因や予防法などの説明に、参加した会員20人は熱心に聞き入っていました。

香川県は熱中症患者が多いとの説明を聞き、小西美千代会長は、「健康あっての農業経営。命に関わることもあるので、こまめに水分や塩分の補給を心がけたい」と気を引き締めました。

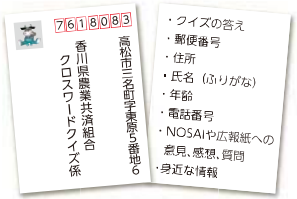
クロスワードクイズ

1 D	2		3 A	4	
5	F		6	C	
		7			8
	9			10	B
11		12	13		
14		E			

正解者の中から抽選で 10 名さまに古代米低アルコール飲料「リセノワール」をプレゼントします。たくさんのご応募お待ちしております。

※ご応募は２０歳以上の方に限らせていただきます。

郵便はがきに、①A～F を順に並べたクイズの答え ②郵便番号③住所④氏名（ふりがな）⑤年齢⑥電話番号⑦ＮＯＳＡＩや広報紙への意見、感想、質問⑧身近な情報などをご記入のうえ、ご応募ください。



応募によって得られた個人情報は、賞品の発送と今後の広報紙作成の参考意見とする以外の目的に利用しません。

○応募の宛先／〒761-8083 高松市三名町字東原５番地６
香川県農業共済組合クロスワードクイズ係
○応募締め切り／平成 26 年 8 月 22 日（金）消印有効
○当選者発表／平成 26 年 11 月発行予定の 10 号で発表いたします。

たてのカギ

1. 物のあるところ。所在
2. 昨年の好感度No１男性アナウンサー○○太一
3. 書物を最後まで読み通すこと
4. 屋根より高い～○○○○○♪
7. 全ての人を平等に愛すること
8. ふと思いつくこと
11. ○○鳥。○○型。○○人形
13. ナイアガラの○○

よこのカギ

1. 甘味処。読み方は、「かんみどころ」か○○○○○○
5. ネズミに似た動物。ほっぺたを膨らませた姿が印象的
6. 目印や支柱にするために、打ち込む棒
7. 毎年、５月第２日曜は何の日？
9. 地球、木星、金星、火星は全て○○星
10. 近海魚○○の卵巣はからすみの原料となる
12. するめの別名
14. 「おじいちゃん、いつまでも○○○○してね」

農家の声

たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。ご意見、ご感想の一部を紹介します。

■うちのごはんを見て、ナバナ入りてっぱいを作りました。分かりやすかったので、おいしくできました。（さぬき市寒川町　女性61歳）

■「さぬきのめざめ」を早速買って食べました。おいしかったです。今後の讃岐ブランドに期待。（高松市木太町　男性70歳）

■主人がイノシシ、シカ等の有害獣をなんとかしようと、狩猟免許取得に挑戦しています。獣害がなくなることを楽しみにしています。（小豆島町　女性71歳）

■兄がモモ作りに励んでいます。作物は違っても、がんばっている人の姿を見て楽しいです。（坂出市川津町　女性29歳）

■最近農業を始め、米や麦作りに挑戦しています。米は水入れが大変であることを実感しています。（観音寺市大野原町　男性60歳）

第６号当選者発表

答え　かいらんばん

《当選者》

江本和恵さん（東かがわ市西村）
春日義則さん（高松市三名町）
白井美佐子さん（高松市国分寺町）
朝田　進さん（まんのう町）
竹川和弘さん（琴平町）
長谷川雪代さん（観音寺市中田井町）

県産ビワ「茂木」をお送りしました

つくってんまい！
たべてんまい！

うちのごはん vol.08

苦手な人にもお勧め ゴーヤdeさっぱりサラダ

《ゴーヤ》

ビタミンCなどの水溶性ビタミンを多く含むウリ科の植物。近年、ゴーヤに含まれる高い苦味タンパク質が夏バテ予防に効果があるとして、全国的に栽培されるようになりました。緑のカーテンと呼ばれる日除けとしての栽培も人気です。正式名称はツルレイシ。

材料(4人分)

●ゴーヤ	1本
●トマト	1個
●キュウリ	1本
●レタス	1/2個
●ツナの缶詰	1缶
●粒コーンの缶詰	1缶
●ポン酢	大さじ 5

作り方

1

ゴーヤを半分に切り、ワタを除き5mm程度に切ります。ひと煮立ちさせ、10分ほど氷水にひたします。

2

トマトは種を除き1cmのサイコロに、キュウリは1～2mmの輪切りに、レタスは食べやすい大きさに切ります。

3

ゴーヤの水気を切り、2とツナ(汁ごと)、コーンを加えます。

4

ポン酢を加えて、味をなじませて出来上がり。

夏は直前まで冷蔵庫で冷やしておくとさっぱりして美味しいですよ。

料理紹介 善通寺市与北町
浅野(あさの) 輝子(てるこ)さん

【表紙のつづき】

丸亀市飯山町でモモ150アールを栽培する山本富廣(とみひろ)さん(66)。高校卒業後、40年以上モモ栽培一筋の専業農家です。

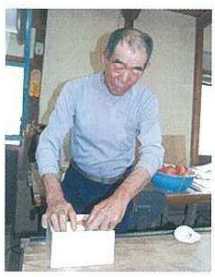
露地栽培以外に、平成元年に建設した10アールのハウスでも栽培を行っています。露地よりも早く出荷でき単価も高くなるハウス栽培ですが、同時期にハウス栽培を始めた農家も、残っているのは一軒だけに。

燃料費高騰の影響を受けるのは難点ですが、これからも品質の良いモモをお届けしたい、と山本さんは力強く話します。

【あとがき】

本格的な農繁期になりました。実家で草刈りをしていると、ご近所さんから「若いのにがんばってるね」と言われます。

声を掛け助け合い、人の温かさがある農村はいいものです。自分なりに頑張って残していきたいです。



発行：香川県農業共済組合　編集：総務部企画情報課　発行日：平成26年7月1日
〒761-8083 高松市三名町字東原5番地6　TEL087-888-2121　FAX087-888-3031
ホームページアドレス：http://www.nosai-kagawa.jp

この印刷物は、植物性油インキを使用し、環境にやさしい「水なし印刷」で印刷しています。